

2011年4月11日

日本物流学会 会員各位

第28回全国大会実行委員会
委員長 岩井 善弘(産業能率大学)

「第28回日本物流学会全国大会での報告者募集のご案内」

東日本大震災が発生し、物流の重要性及び大切さを従前に増して実感する今日この頃ですが、東北及び関東地方におけます会員各位の皆様には心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興を祈念しております。

さて、本年の全国大会は9月2日(金)から3日(土)の日程(別紙1)で、**産業能率大学**(東京都世田谷区:最寄駅は自由が丘駅)において開催致します。本年の統一論題は「**サプライチェーン・ロジスティクスの新潮流**」(別紙2)としました。自由論題とあわせて多数の報告者を募集致します。

つきましては、同封の別紙3の各項目をすべてご記入のうえ、電子メールで送信していただくとともに、FAXにて大会実行委員会までできるだけ早くご送信頂きますようお願い申し上げます。なお、**報告申込最終期限は6月2日(木)**です。応募方法は、学会のWEBサイトからもご参照いただけます。

※日本物流学会 (<http://www.logistics-society.jp/>)

【送付先】

第28回日本物流学会全国大会事務局

電子メール: butsuruyugakkai28@gmail.com (全国大会専用)

F A X : 0 3 - 3 7 0 4 - 1 2 6 9 (産業能率大学・経営学部・寺嶋研究室)

※全国大会では、報告の為の原稿提出と大会当日の発表が義務付けられています。期日までの原稿提出と、発表当日の日程が確保できることを確認のうえ、応募してください。

※報告者に対する受領通知や研究報告集原稿作成のお願いは、電子メールでさせていただきます。受領通知につきましては、平日は2~3日以内にご案内申し上げます。加えまして、6月中旬に、報告者へ「研究報告集原稿作成のお願い」を送付申し上げます。

※なお各種の問い合わせ等は電子メールでお願い致します。電話での対応はできません。

※夏季の東京電力による計画停電の実施状況によっては、発表時間が停電時にあたる可能性があります。その場合、パワーポイント等を使用しない形での発表をお願いすることになります。ご了承下さい。

第 28 回日本物流学会全国大会プログラム（案）

9 月 1 日（木）

夕刻（時間未定） 理事会

9 月 2 日（金）：

9：00～ 受付
9：30～10：20 統一論題Ⅰ 流通業の視点（仮）
10：20～11：10 統一論題Ⅱ メーカーの視点（仮）
11：10～12：00 統一論題Ⅲ 物流事業者の視点（仮）
12：00～13：00 （昼食）
13：00～13：50 特別講演 東日本大震災とロジスティクス（仮：行政担当者）
14：00～15：30 パネルディスカッション
「サプライチェーン・ロジスティクスの新潮流」
16：00～17：00 会員総会
17：30～19：30 懇親会

9 月 3 日（土）

09：30～12：00 統一論題、自由論題、国際セッション、院生セッション
12：00～13：00 昼食
13：00～16：30 統一論題、自由論題、国際セッション、院生セッション
会場ごとに終了

（注） 時間は一応の目安で、発表件数などによって変更の可能性があります。

別紙 2

第 28 回日本物流学会全国大会 統一論題 「サプライチェーン・ロジスティクスの新潮流」

統一論題の趣旨

2000 年代における最初の 10 年が終り、次の 10 年が始まろうとしています。わが国経済はこれまで経験したことのない人口減少局面を迎え、デフレ基調を余儀なくされています。右肩上がりの時代に描いてきたビジネスモデルは通用しなくなりつつあるわけで、新たな枠組みの提示が待たれていると言えるでしょう。

ものがなかなか売れない時代にあって、ロジスティクスはどのような役割を期待され、また今後担っていくべきなのでしょう。小売業のみならず、卸売業、メーカー、物流事業者、サードパーティロジスティクス事業者などは、サプライチェーンの中でどのような機能を提供していくべきでしょうか。大手企業は今や活路を中国、ベトナム、インドといった諸外国に見出していますが、こうした企業活動のグローバル化や、また環境問題、安全に関する問題、流通 BMS など業界標準化に向けた動きなど、企業を取り巻く環境の大きな変化は、物流やロジスティクスの姿をどのように変えていくのでしょうか。

2011 年 3 月には東日本大震災が発生しました。東北地方における物流インフラは驚異的なスピードで復旧しましたが、東北地方のみならず首都圏のスーパーマーケットの店頭ではほぼ品切れの状態がしばらく続きました。不測の事態への対応能力の低さを垣間見たとあって良いかも知れません。今後物流に携わる者としては、「地震により何が見えてきたか」「サプライチェーン全体で見たロジスティクスの状況は、望ましいと言えるか」「浮き彫りになった課題は何か」など考えていかなければならないことでしょう。

今年度の日本物流学会全国大会はこのような問題意識のもと、「サプライチェーン・ロジスティクスの新潮流」というテーマを設定しました。小売業、卸売業、メーカー、物流事業者等を取り巻く環境が様変わりしつつあるなか、その連動、いわゆるサプライチェーン・ロジスティクスの形態やあり方も変わりつつあります。その実態はどうなっているか、また今後どうあるべきか、取引制度など商流面に関する動きはどうか、その為の物流行政のあり方はどうかなど、多面的な視点からの研究が必要とされていることでしょう。学会員の皆様におかれましては、様々な視点に立った日ごろの研究成果の成果を、産官学を対象に、積極的にご発表及びご投稿頂けたらと願っています。